

AdBlue® Schatz NEWS

AdBlue®はドイツ自動車工業会(VDA)の登録商標です。 Registered trademark of the Verband der Automobilindustrie e.V.(VDA)

Schatzの強み！

Schatzは、全てのAdBlue®を自社便にて配送することにより、ユーザーの皆様とコミュニケーションをとりつつAdBlue®に対する知識を上げていくこともVDAライセンスとしての責務と考えております。

給液ドライバーはAdBlue®アドバイザーという名刺を持っておりVDAの3年に1度の監査をクリアしたメンバーがおお客様のタンクへの給液または、BIBの配送を行います。

VDAの指導では、タンクにAdBlue®が入るまでがサプライチェーンと指導があります。IBCタンクをご使用のお客様におかれましては、車両へのAdBlue®給液をお客様自身で実施して頂いているケースも多く、その際の注意事項等をお客様にお知らせしながら車両故障が1台でも減ることが、AdBlue®メーカーの責任であると考えております。

Schatz社のAdBlue®をお使いのお客様と会話をさせて戴きながら、より良いAdBlue®事業環境へステップアップしていく事をお約束いたします。



Schatz

尿素 太郎
AdBlue® Advisor

AdBlue® 販売総代理店
株式会社 **Schatz**

〒287-0203
千葉県成田市村田247-10
phone 0476 94 3168
fax 0476 94 3169
mobile 090 0000 0000
e-mail 0000@schatz.jp
website www.schatz.jp/

本社 ■ 〒135-0064 東京都江東区青海2-7-4 the SOHO 404
phone 03 6457 1891 / fax 03 6457 1893

【尿素市況】10月輸入尿素価格は反落、需給の緩みで中国が輸出継続

輸入尿素価格は前月から反落した。リム情報開発の調べでは、円建ての日本着価格は10月21日時点でトンあたり95,000円台前半と、9月16日時点と比べ10,000円程度下がった。国際需給の緩みで中国が日本向け輸出を継続している。

高騰していた天然ガス価格が10月に入り下落に転じたため、原料高でアンモニアプラントの稼働を止めていた欧州メーカーが生産を再開した。

こうしたなか、最大消費国インドで尿素プラント(年産127万トン)が新たに稼働を開始した。同国の国際市場での調達量が減少するとの見方が出た。欧州や南米の需要も低調で需給に締めりが無いという。

ただし、今後の先行きは不透明だ。円相場がドル対比で下落を続けており、円建て輸入価格を押し上げる要因となっている。また、暖房需要が高まる冬場に向けて再び天然ガス価格が高騰する可能性もある。(リム情報開発の週刊『クリーンエネルギー』記事を編集加工)



アドブルーを飲んだり触ったらどうする？

アドブルーを扱う際に、誤って手についたり口に入ってしまった！

そんな時どうすれば良いのか？解説していきます。

まず、アドブルーは尿素と純水の混合液で、濃度比率は32.5%と決まっています。その他不純物については厳格に基準値が定まっており、基本的には人体には無害な無色透明の液体です。

尿素はハンドクリームなどでも使用されている、安全な物質です。基本的には手に触れた場合も、慌てずに石鹸で洗い流してもらえれば問題ありません。

万が一一口に入ってしまった、飲み込んでしまった場合も無理に吐かせないでください。

口を水ですすぎ、気分が悪い場合は医師の手当を受けて下さい。

目に入った場合は直ちに清浄な水で数分間洗浄してください。洗浄の際はまぶたを指で開き、隅々まで水がいきわたるようにしてください。

このような安全上の情報は「安全データシート」という書類にまとめられています。取り扱う作業場に貼っておけば、万が一にも慌てず

対処が出来ます。(AdBlue®周辺機器メーカー：株式会社エイチツー情報提供)

